

報道関係各位

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

10代ならではの視点で地域の物語を紡ぎ、社会に提案！
小学生の想いを受け取った高校生がショートフィルムを制作中！

特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール（東京都港区）は、子どもの育ちも学びも地域社会で応援する放課後を日本中につくるところを目指し活動しています。

本プロジェクトは、小学生が地域の課題や可能性に触れ、未来の地域に対する想いを形にするために高校生にバトンパス。高校生がショートフィルムを制作することで、**10代ならではの視点で地域の物語を社会に提案**します。現在、プロジェクトに参加してくれた6名の高校生と共に映画制作を進行中！**予測不可能な時代を迎える今、大切な10代に何を学ぶべきか。**地域で子どもを育ててきた日本ならではの学びを追い求めたく、ぜひその一歩を目撃していただけますと幸いです。

開催概要

	日程	内容
シーンづくり編 (小学生編)	【DAY1】 2019年10月25日 (金) 15:30~16:50	地域の大人たちから千駄木の街が大切にしてきたことは何かを聞き、気づきをまとめる。
	【DAY2】 2019年10月29日 (火) 15:30~16:50	地元大学の実践から文京区の未来を考え、その未来で自分がどうありたいかを知る。
	【DAY3】 2019年11月5日 (火) 15:30~16:50	みんなが願う地域の未来を目指すために学校で何を学ぶか、物語のシーンを考える。
映画づくり編 (高校生編)	【DAY1】 2019年11月12日 (火) 15:30~18:00	チーム分け、プロット作り
	【DAY2】 2019年11月15日 (金) 15:30~18:00	脚本制作
	【DAY3】 2019年11月21日 (木) 15:30~18:00	構成・コンテ制作
	【DAY4】 2019年11月29日 (金) 16:10~18:00	制作・撮影準備
	この期間にiPadを貸出し、参加者は自主的に撮影を行う	
	【DAY5】 2019年12月17日 (火) 16:10~18:00	編集レクチャー ※以降自主的に進める
	【DAY6】 2019年12月23日 (月) 16:10~18:00	編集中間サポート
	【DAY7】 2020年1月14日 (火) 16:10~18:00	発表準備
発表	2020年1月26日 (日) 文京区「コミュニティプラザ」での発表。	
AND more	完成作品は制作プロセスと合わせてWEB上公開を予定しています。	

会場：東京都立向丘高等学校 他 ※一部日程は別会場で実施します。

参加者：区内在住or在学の高校生（6名）／参加費無料

企画・運営：特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール

協力：東京都立向丘高等学校 他

講師：株式会社イグジットフィルム 田村祥宏 氏
 フィルムディレクター／クリエイティブファシリテーター



映画的な演出や作家性を活かした作品を手がけ、国内外で様々な賞を受賞。近年、社会課題をテーマに課題当事者とクリエイターが共創するプロジェクトに取り組んでいる。2017年にはオランダ・デンマークのクリエイティブ教育や市民教育の事例をヒントに、中学生が実社会で役立つ多様なスキルや姿勢を身につけることを目的としたクリエイティブ教育プログラムを実施。現在、様々な企業と連携し、脚本術を用いた価値創造の手法を開発中。

■これまでの様子（小学生編～高校生編Day3まで）



小学生編Day1

地域で暮らす大人の皆さんに現在の街のことやご自身のお話を聴き地域の課題や可能性に触れる。



小学生編Day2

近隣大学の先生をお招きし、地域のお話を聴く。また将来どんな自分でありたいかをストーリーテリングの手法で導く。



小学生編Day3

これまでに得た「街の課題」「大切にしたい場所」「地域に暮らす人」を題材に物語のシーンをつくる



高校生編Day1

小学生が集めた材料を使ってシーンづくりに挑戦。さらにシナリオとして成立させていく



高校生編Day2

映像にしたいシーンを決め、脚本化に向けてブラッシュアップ。ストーリーの鍵になるのは「出会い」



高校生編Day3

本物の脚本づくりを習い、それぞれの作品をしっかりと脚本化していく作業。撮影の実現制も考え取り組む。

■失われるものが多い時代に守りたいものは、人と人との出会いやつながりの中できっと見つかる。

度重なる自然災害や価値観の変化。日本のどこにいてもこれまで大事にしていたものが失われていく時代を私たちは生きています。テクノロジーの発達によりコミュニケーション手段は増えてきましたが、SNSで裏アカウントをいくつも作り、自分らしくいられる場所を求め続け、また自己表現手段に模索している若い世代をどうしたら応援できるのか。彼らが抱える孤独や不安を豊かなコミュニティが和らげられ、大人になるまでの成長軸を見守り、本当の意味で「地域で子どもを育てる」ために、もう一度放課後という時間のあり方を問い直してみたいのです。地域みんなで子どもを応援し、大人自身も生き生きと働き楽しむ姿を子どもたちに見せることができれば、本当の「好き」が見つかり、オリジナルの将来図を描きながら「こうありたい」と願う未来や自分自身が見えてくると信じています。

■担当者の声～大切なのは一人ひとりのイマジネーション。新しい学びはみんなで一緒に作りたい～

時代の変化と共に教育のあり方が問い直され、2020年には日本でも大きな変革がやってきます。子どもたちが楽しく生きていくために放課後ができることは何でしょうか。本来、放課後の時間は子どもたちにとって友達と思いきり遊び、いろいろな事にチャレンジしながら好きなことや得意なことを見つけられる時間です。世の中が変わり、社会で求められるものが変わっても、子どもたちがそれぞれ大事にしたいことや大切な人・ものを見つけていくことを応援し続けたい。そのために地域で子どもを応援する放課後が日本中に必要だと思っています。友達や多様な人との出会いの中に新たな好きや関心との出会いもあり、それはきっと子どもたちの世界を広げてくれるはずです。

子どもたちが想いをちゃんと伝えられる社会でありたい。大人もまた向き合い、共に対話をしながら地域も未来も創っていききたい。

高校編に入り、想像以上だった現代の高校生の放課後の忙しさを実感しています。小さな悩みや課題も抱えながら進んでいますが、小学生の想いを形にしたいと声をあげてくれた高校生たちと、みんなで分かち合いこのプロジェクトを一緒に進めていけたらと思っています。（放課後 NPO アフタースクール／すずきかおり）

■ご取材を希望くださる方は右のフォーム（URL/QR）
またはメールにてご連絡ください。 <http://bit.ly/20JUvqh>



放課後はゴールデンタイム  放課後 NPO 772-スクール

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。（年間のべ20万人以上の子どもが活動に参加）

アフタースクール開校数：20校／連携企業200社以上／市民先生5,000人以上

本件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人
放課後 NPO アフタースクール
本部事務局／広報（鈴木）

TEL:03-6721-5043

MAIL:press@npoafterschool.org